

## 所信

森井 数馬

### 【はじめに】

戦後間もない1954年、自分たちの手で未来を切り拓くという志高き青年により松阪青年会議所は産声をあげ、63年という歴史を刻んでまいりました。我々の先輩諸兄が、絶え間ない努力と一つ一つ工夫を重ね続けていただいたその先に、いまの我々の運動があります。この地域で何気なく見逃している暮らしの断片にも、「どんなわずかなことでも、昨日と全く同じことを今日は繰り返さない」という連綿と続く先達の尊い工夫の積み重ねとその努力の跡があります。それはまさに、無から有を生み出している創造であり、それが地域に大きな影響を与え続け人々の意識を変えてきました。しかしながら、昨今、松阪においても人口減少社会が到来しはじめ、社会構造の変化が現実となって現れてきております。このような転換期だからこそ、我々は青年経済人としての社会的責任を果たすために、先輩諸兄の足跡をなぞるだけの運動だけではなく、松阪青年会議所の歴史の中で培われ、継承されてきた創意工夫と努力の精神で道を切り拓き続ける必要があるのです。我々は、自らの意志と行動により、今、自分達にしかできない運動ができるはずです。同じ志をもった多くの仲間と共に、躍動する心で運動を展開していきましょう。そして、先達のおもいを胸に刻み込んで、誇りある歴史と伝統をまもり、次代へと繋いでいきましょう。

### 【指導者として】

急速な社会構造の変化が引き起こす格差社会の拡大は、様々な矛盾を抱えている状況において、精神的な喪失を引き起こしています。組織を維持管理していく運営能力だけでなく、その上に立つ指導者の素養や力量が問われ、そのあり方が求められているのです。青年会議所運動は指導力開発であるといわれております。「ひと」を導くことのできる指導者は、すべての「ひと」に対して寛容であり、決して傲慢ではありません。そして指導者として目的を達成するべく仲間をおもい前に立ち、まず率先垂範して背中を見せ続けるのです。指導者は、自分に厳しくあり、自分の行動を通して仕事のやり方、自分達の進むべき道を仲間を示していくのです。その大前提には、仲間から信頼をされる存在にならなければなりません。先達の教えや哲学、そして生き方を絶えず学ぶ姿勢を持ち、無心の心による他者への献身を厭わずに、自分を磨き続けることが必要です。互いに範を示しあう事で共に切磋琢磨してまいりましょう。

### 【まちづくり】

青年会議所の社会開発事業は、指導力開発を推し進めるもっとも有効的な手段として、その運動を行っています。まずは会員が優れた指導者としてしっかりと修練を積み、地域に住まう「ひと」に働きかけ共にまちづくりを進めていきます。そのまちづくりは、先人たちの郷土愛と絶え間ない努力の蓄積により発展してきました。しかしながら、我々は、そのまちが伝承してきた偉大な文化や歴史を確実に伝えることができるのでしょうか。様々に山積するまちの課題を解決していく糸口は、まずはまちを知り理解し郷土に対する愛情を持つことです。そして、自分たち

のまちは自分たちでつくるという先人の精神を引き続き、まちへのおもいを躍動させ、一人ひとりがまちづくりの主体となって行くことが必要です。誰もがこの松阪に郷土愛と誇りを持ち、心を豊かに育めるまちづくり運動を展開することで、まちへのおもいを次代に繋げていきましょう。

#### 【青少年の育成】

次代を担う松阪の宝である子どもたちが本来学ぶべきことを我々大人が十分に教えることができているのでしょうか。かつては、日本人本来の高い精神性を地域の大人たちで子どもたちに教えてきました。今なお、子どもたちの健全な育成は、我々大人の責務です。子どもの時から「ひと」として、世のために、そして「ひと」のために貢献しながら生きていくことを学び、「利他の心」をしっかりと身に付けて、相手をおもいやる温かい心をもった子どもたちの育成は必ず地域の活力へと繋がるのです。子どもを育てるには、大人が愛情を持って接することが必要です。しかしながら、愛情があるからこそ良い関係性が築けるのではなく、良い関係性が愛情をさらに深いものへと導くのです。我々大人が子どもたちに、他者をおもいう心を育む機会をつくり、そして自らも学ぶことで、次代を担う若者達におもいを繋げていきましょう。

#### 【同志の拡大】

松阪青年会議所は、偉大なる諸先輩方を数多く輩出しこの地域の発展に繋がる運動を展開してこられました。我々が、今なお青年会議所運動を行うことができるのは、諸先輩方が明るい豊かな社会の実現に向けて、同じ志を持った仲間を増やし、その志を連綿と継承し続けてこられたからこそです。しかしながら、人口減少社会を背景の一因とした、近年の青年会議所会員の減少は全国的に見ても大きな問題であり、松阪青年会議所においても同様の傾向がみられ、近年には卒業見込みの会員が多く在籍し、組織の存続における課題に直面しています。明るい豊かな社会の実現に向けての原動力は紛れも無く会員であり、青年会議所運動の根幹は、同志の拡大と言っても過言ではありません。同志の拡大を推し進めていく根底にある精神は、正会員の松阪青年会議所への熱い情熱であり、そのおもいをいかにして相手に伝えきることかということです。この先の明るい豊かな未来へ向けて、青年会議所運動を通じ指導者として多くの学びを得た人材を輩出し続けるためにも、また質量ともに充実した運動を展開していくためにも、会員一人ひとりが同志の拡大を日々意識し続けていきましょう。

#### 【出向者について】

青年会議所には、出向という素晴らしいシステムがあり、日本青年会議所、地区協議会、ブロック協議会といった様々な舞台において同じ青年会議所の理念を持つ仲間と共に、より広い範囲の運動に取り組むことができます。青年会議所には様々な気づきや学びの機会がありますが、出向という機会には、新しい気づきと多くの仲間との出会いなど計り知れない可能性を秘めています。本年度も松阪青年会議所の代表者としての誇りを胸に、それぞれの出向先での活躍を誓う仲間がいます。出向者がそこでの機会をひとつずつ真摯に取り組み学び得たものそして友情は、松

阪青年会議所の知見を大きく広げてくれることに繋がり、活動の幅を広げることに繋がります。この成長のスパイラルを作り、そして継続していくことは必ず松阪青年会議所の成長と発展に結びつくのです。出向者がそれぞれの舞台で全ての力を発揮し活躍できるように、感謝の気持ちを持って、全力でサポートをしていきましょう。

#### 【むすびに】

人と人とが、限りないまでに繋がっているこの世の中に、自分とは全く関係のないといえることが、存在し得るのでしょうか。その繋がりには、縦にも横にも複雑に繋がりが合い連動しています。であるならば、ひとりの情熱と他を顧みない行動が、「ひと」の心を、そして世の中を動かす力を持っているのです。その途轍もない可能性は、会員一人ひとりが秘めています。西郷隆盛が評された「大きく打てば大きく響き 小さく打てば小さく響く」は、まさに青年会議所であると考えます。つまりは、それに当たる「ひと」の熱量と姿勢によって得られる結果に大きな違いが出てくるのです。青年会議所という唯一無二のひとづくりの学び舎を、40歳までという限られた時間を深く濃密に、そしていつも心を躍動させて自己成長の機会として最大限に活用しましょう。